

教育である。他の言葉を以てすれば、労働教育なるものは吾等が現在用ひつて
けてある。日常斗争そのもの、展開であるが、吾等の教育を見る時
に始めて、それと組合の他の活動方面との連貫的関係が正しく理解され、従つて
これまでの如く組合の教育部が隠居者扱ひとされることはなくなるであらう。

二 教育の目標

一 吾等が教育の目標は労働者の理論を把握し實際的知識の獲得とカニツに
あるは云ふまでもない。だが、この教育の二方面は全く不可分のである。吾等
の理論とは全世界のプロレタリアの長い時代にはなる斗争経験の結果である。
凡て法則なるものは人間が長い過去に於て無數の経験を積み重ね自然と形づく
らぬ習慣をまとめて個條書にしたものに過ぎぬ。吾等労働者階級の理論として
其の通りだ、故に理論を照視し反運動なるものは結局過去事實の経験と絶對に
無縁運動であつて、それ故に誤謬と失敗は常に避け得ぬことである。
固に能くして弄出した船と異なるものも、又一方人間の経験が連綿
不断的ものである以上、現実の斗争から遊離した理論が有り得る筈はない。
謂ゆる「左翼小児病者」の行動が「理論」を根據に展開するにも固く事實に

それ故に誤謬である理由は彼等が現実から遊離して居るからに外ならぬ。それ
と反対に謂ゆる「現実主義者」等は左翼小児病者が「理論」の上には失敗すまじ
まを見て理論無用論を主張する。然し彼等は舵なき船や船頭が舵なきを誇るに
類して居る。彼等の誤謬と失敗は彼等が唯ふ左翼小児病者に放て劣るものでな
い。何故？若し彼等が「現実」なるものが全階級の現実であり全階級斗争の
史的事実であるならば決して間違は起り得ないのだから、そつてはかくして僅か
に彼等個人の小さな定の中の現実であり、声のすいから天井を覗いた現実であ
るが故にそこに誤謬を生ずるのである。かゝる左右両翼の誤謬は現実から足
浮いた机上遊戯と理論を無視した盲目直中を排して労働者大衆を正しき斗争
の道へと導く事が吾等の労働者教育の目的である。

二 一般社会に於ける教育は凡て資本主義制度擁護の爲めの教育であつてそれ故
に謂ゆる「民衆教育」なる假面を被る場合に於ても欺瞞的色彩を以て労働者の階
級意識を鈍らせることを全目的として居る。この点に於ては、吾等に教育の女
ならず宗教、藝術、スポーツ凡て幾りである。吾等の教育はかゝるブルジョア
的欺瞞を曝露し、支配階級の精神的抑圧と支配から労働者大衆を完全に解放